



木の風景

木の風景 [79]

免の山の山桜

所在地：豊内



ヤマザクラ <山桜> バラ科 サクラ属 [落葉高木]

豊内の免の山の斜面などには、淡紅白色のかれんな花々を咲かせる山桜が、春の訪れを告げる。

中世の城館跡である陣ノ内館跡が山頂にある免の山の景観をより良くするとともに、地域の活性化のために、5年前から下豊内区では、山の斜面の雑

木林を伐採し山桜などの季節を彩る木々を植樹している。

区民の皆さんによって植樹された苗木は順調に育ち、山の春景色に淡い彩りを優しく添える。

<説明>

日本の野生サクラの代表で、山地に広く自生し、古くから人々に愛好されている。高さ15~25mになり、樹皮は

暗褐色。新芽は赤、茶色、黄色、緑色など変異が多い。成葉は長楕円形で、長さ8~12cm。ふちには細くて鋭い鋸歯があり、裏面は白緑色。葉柄の上部に2個の腺点がある。

3月下旬~4月中旬に、直径2.5~3.5cmで白色または淡紅白色の花が散房状に2~5個咲く。果実はほぼ球形で、5~6月に紫黒色に熟す。

広報

こうさ

2010年(平成22年)4月号
通巻489号

今月の表紙

3月12日(金)緑川河川敷での緑川保育所のお別れ遠足のお昼ご飯。お楽しみのお弁当を、友だち同士でお互いに見せ合っこ。